

はつとこどもえん
えんだより

2019 ねん

12 がつごう



3 歳児 (カレーパンマンとバイキンマン)

ねんらくします



- ★ 12月29日(日)～1月3日(金)は、冬期休暇です
(一号認定の方は、12月27日(金)～1月5日(日)が冬季休暇期間です。)年末は12月28日(土)まで、年始は1月4日(土)からスタートです。
その他お休みの方は、家庭保育のご協力をお願いいたします。
- ★ 冬場の屋外での服装について
フードやジッパー付きの上着は、危険ですのでご遠慮下さい。
外に出る際には、トレーナーで調整していきます。
- ★ 登園時・降園時はICカードを忘れずお持ちください
扉が開いている時でも、ICカードをセンサーに必ず通してください。
忘れた時は、健康調査表に時間を必ずご記入ください。
- ★ トレーナー(100・110・120・130cm)
ズボン・長袖、半袖Tシャツ(120・130cm)の寄付のお願い
ご家庭で不要なものがあれば、寄付をお願いいたします。



プログラミング的思考を育む

園長 ^{かたやま} 片山

先月は、保護者の皆様には保育参加で日頃の様子をご覧いただきました。（お忙しい中ありがとうございました。）その他、灘区の公立・私立の保育園・こども園の先生達や大学教授らに園を公開し、保育実践を評価してもらいました。職員（子供）らは見られることに緊張する姿もありましたが、私達の取り組みが多くの方々目に触れ、参考意見を頂戴することで、子供たちへ還元できると考えております。また外部講師を招いて園内研修も実施しました。園外の方から気付きを与えていただける機会に恵まれた月でした。

研修の一部で 2020 年度から小学校においても導入されることとなったプログラミング教育とは何か、就学前教育・保育を実践する私達も模索するきっかけが欲しかったので見つめてみました。

今日、コンピュータは人々の生活の様々な場面で活用され、私達の生活を便利で豊かなものにしています。あらゆる活動において、情報機器やサービスとそれによってもたらされる情報とを適切に選択・活用して問題を解決していくことが不可欠な社会が到来しつつあります。コンピュータをより適切、効果的に活用していくためには、その仕組みを知ることが重要です。コンピュータは人が指示を与えることによって動作します。端的に言えば、この命令が「プログラム」であり、指示を与えることが「プログラミング」だそうです。

プログラミング教育は子供たちの可能性を広げることにもつながります。創造力を発揮して、起業する若者や特許を取得する子供が現れています。子供が秘めている可能性を発掘し、将来の社会で活躍できるきっかけとなることも期待されます。このように、コンピュータを理解し上手に活用していく力を身に付けることは、これからの社会を生きていく子供たちにとって、将来どのような職業に就くとしても、極めて重要なことと位置づけられています。諸外国においても、初等教育の段階からプログラミング教育を導入する動きが見られます。こうしたことから、学習指導要領改訂において、小・中・高等学校を通じてプログラミング教育を充実することとしたそうです。

小学校でのプログラミング教育のねらいの柱の1つに「プログラミング的思考」を育むことが挙げられています。プログラミング自体が教科の1つになるのではなく、例えば、国語・算数・理科・社会などといった教科の中で横断的に組み入れられるそうです。

大前提として、子供がプログラミングを「体験」し、取り組むことの楽しさや面白さ、ものごとを成し遂げたという達成感を味わうことによって、「もっと活用したい」、「上手に活用したい」といった意欲を喚起します。その過程で「プログラミング的思考」が育まれ、各教科等の学びも充実していくことが期待されているようで、自らが意図する動きを実現するために試行錯誤することが極めて重要と捉えられています。

大人社会においても問題を答える力だけでなく、問題を創る（様々な想定する）力、マニュアル通りに実行する力だけでなくマニュアルを創る（改定する）力がより大切になってきていると実感しますから、私達もこの思考を鍛えていきたいと考えます。

関わり合いのなかで

副園長 ふじわら
藤原

先月は、お忙しい中、保育参加にご参加いただき、ありがとうございました。当日は、家庭とは違ったわが子の姿に驚かれたり、新たな一面を発見されたりすることもあったかと思えます。保育参加中、保護者の方にひっついて離れない子もいれば、離れて黙々と遊ぶ子もいましたが、クラス全体の子供たちの姿から普段の園生活の様子を感じ取ることができたのではないのでしょうか。また、子供たちそれぞれの個性や性格もご覧になられたことだと思います。“思い立ったらすぐに行動する子”、“じっくり考えてから慎重に行動する子”など、一人ひとり違う子供たちが関わり合って、そして学び合って毎日の集団生活を送っています。

友達同士で遊んだり、関わり合ったりする姿を見ると、私たちはその様子を微笑ましく嬉しく感じます。特に“なかよく”遊んでいれば、なおさらでしょう。けれども、特に0歳児、1歳児の子供は、直接的な関わりがなくとも、他の子が遊んでいるなかに居るだけで、見ていないようでも、その様子を確実に感じ取っています。“なかよし”にしていなくても、そこに大きな相互作用があるのだと思います。特に乳児は、意識をしなくても周囲の子供の様子を取り込んだり、模倣したりする力が多く備わっています。言語にしても、胎内にいる時からお母さんの言葉や声を聴いていて、生後すぐでも日本語を話すお母さんの声に反応する、と言われていました。また、友達と遊んでいるとき、子供たち一人一人は、遊び方やそれぞれの表現が異なっているように見えても、横にいる相手を理解したり、惹かれあったりしながら遊びが展開されていることがよくあります。そんな子供たちの様子を、何となく見過ごしてしまいがちですが、1つ1つの場面をよく観察し、子供たちの心の育ちをしっかりと見ていきたいと思っています。

子供が育っていく上で大切なこととして、もともと持っている好奇心や探求心を発揮できるような環境を用意することが挙げられます。また、それとともに「自制心」の育ちも必要だと言われていました。物や情報があふれる現代社会においては、「競争心」や「競争意識」がどんどん強くなるとされ、「自制心」をどのように育むかは、大きな課題となっています。誰かに言われたり、諭されて学べるものではなく、保育参加でも見られたかと思えますが、自分より年下の友達の存在を気にかけたり、相手を泣かせてしまったり後悔をしたり、自分自身の思い通りに相手が反応してくれなかったり、理不尽な思いも経験する、そのような子供同士の関わり合いの中で、心（自制心）は、育っていくのだと思います。

みなさまも健康に留意され、良い年の瀬を迎えられますように。そして来年、お正月明けにまた、元気な子供たちに会えることを楽しみにしています。

お台所の先生から、簡単レシピ

いわさち こんどう
岩瀬 近藤

《今月は、子供たちの人気メニューを紹介します》

シーチキンがんも

材料（4人分）

- 豆腐 → 1丁
- シーチキン → 1缶
- たまねぎ → 1個
- 人参 → 半本
- たまご → 1個
- 片栗粉 → 大さじ2
- 塩 しょうゆ → 適宜
- 揚げ油 → 適宜

作り方

- ①豆腐は、水切りをします。
- ②シーチキンは、油をザルで取ります。
- ③たまねぎと人参は、みじん切りにします。
- ④①と②と③とたまごと片栗粉と塩少々を混ぜ合わせます。
- ⑤④を小判型に丸め油で揚げます。
- ⑥器に盛りしょうゆをかけます。

見た目が、ハンバーグのようです。あっさりとした味わいで、材料もヘルシーですが、たんぱく質がたくさん含まれています。

鮭のレモン和え

材料（4人分）

- 生鮭 → 4切れ
- かぼちゃ → 1/4個
- 人参 → 1/4本
- ピーマン → 2個
- レモン果汁 → 小さじ2
- 酢 → 大さじ1
- しょうゆ → 大さじ2
- 砂糖 → 大さじ1
- 片栗粉 → 適宜
- 揚げ油 → 適宜

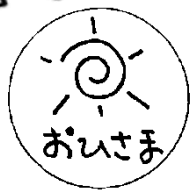
作り方

- ①鮭を1切れ8等分にし、片栗粉をまぶします。
- ②かぼちゃ・人参・ピーマンは2cm角で薄切りにします。
- ③①と②を油でカラッと揚げます。
- ④レモン果汁・酢・しょうゆ・砂糖を合わせておき③に絡めます。

彩りが綺麗で、緑黄色野菜をたくさんとることができます。薄味ですが、野菜の旨みを感じる事ができます。



くまのたけな



〇さい 1さい
おいさまぐみ

ふくやま 福山
たけなか 竹中
おおしま 大嶋
いとろ 伊藤



11月の様子



サーキット

手や腕の力を使って4段の跳び箱によじ登る子が増えて来ました。そこからイキイキとジャンプをしています。また、すべり台のかけ降りのスピードが早くなったり、バランスをとって平均台を跨いで進んだり、成長が見られます。

戸外あそび

〈赤・青グループ〉 体調を考慮しながら、ミニ園庭やお散歩に行きました。少し涼しい外気を感じたり、砂や土や葉っぱに触れたり、それをお友達に「どうぞ」と渡したり、友達同士の間わりも見られました。歩行ができるお友達は靴をはいて歩くのが楽しいようで、探索活動が活発になってきました。

〈黄・緑グループ〉 ミニ園庭から、大きな園庭に移動すると、まずは総合遊具へ。丸太坂を上り下りしたり、階段・滑り台を繰り返したり、丸太橋を走りぬけたりと身体を上手に使い活発に動けるようになってきました。築山も表の階段を登って裏側を探索したり、上から隣のグラウンドのクレーン車を見たりと遊びの幅も広がっています。

コーナー・ゾーン

〈赤・青グループ〉 おままごとに関心が出てきており、黄・緑グループに混じって食器や具材を使って一緒に食べる真似などをして遊んでいます。また、積み木を高く積んだり並べたりする姿も見られます。お友達を意識する様子も見られ、絵本を覗き合ってみたり、鼻が出ている子に拭いてあげようとしたりとする姿があります。

〈黄・緑グループ〉 保育者が介入すると、ごっこ遊びができるようになってきました。今のプームは「お誕生会ごっこ」です。みんなでいろいろな具材を乗せて、スプーンをロウソクに見立ててケーキの出来上がりです。♪ハッピーバースデーの歌をみんなで歌い、最後に1人ずつロウソクの火を消して拍手。入れ替わり立ち代り、盛り上がっています。

感触あそび

赤・青グループは初めて片栗粉に触れました。粉から少しずつ水を足して、サラサラからドロドロになる感触を味わいました。少し戸惑う子もいましたが、周りの子が積極的に触れている様子を見て、一緒に遊び込む姿がありました。

緑・黄グループは、先月に引き続き粘土でたくさん遊び込みました。ヘビのように1メートルほど伸ばした粘土を、子供達に出すとびっくりした表情でした。しかし、ちぎって渡すといつもより柔らかいこともあり、遊びやすかったようです。お団子やおにぎりなどを、たくさん作ってお友達に振舞っておままごとにも発展することも出てきました。

食育

11月は「きのこ」の食育がありました。えのきとしめじの2種類のきのこを、それぞれ手で裂きました。夢中になってどんどん裂いていく子供たち。翌日、きのこの味噌汁で美味しく頂きました。



12月の活動



サーキット

ロイター板上りすべり台下り→平行棒の上を歩く・平均台を跨いで進む→はしご登り→跳び箱をよじ登る→机トンネルを進むユニットを行ないます。

戸外あそび

〈赤・青グループ〉 歩行の出来る子は、靴を履いて外遊びを楽しみます。歩行が確立していないお友達も、伝い歩きやハイハイで戸外の心地よさを感じます。探索活動が活発になってきているので、しっかりと保障し、いろいろな感触を楽しみます。また、見つけたものを指さしで教えてくれたことに対して、言葉を添えていきます。

〈黄・緑グループ〉 全員でのお散歩だけでなく、グループごとなど少人数でのお散歩もしていきます。お友達と手を繋ぐことや、危険なことなども伝えていきます。園庭では、たくさんの落ち葉を踏んだり散らしたりちぎったり、フカフカした葉っぱやシメシメした葉っぱなど、いろいろな感触も引き続き楽しめます。また、築山や遊具で、体もたくさん動かします。

コーナー・ゾーン

〈赤・青グループ〉 おままごとを通して、お友達と関わったり保育者と会話をしたりしながら、遊び方を伝えていきたいと思えます。また、パズルやプラステンなどの、指先を使う玩具もどんどん提供していきます。引き続き、マット山やはしごなどの体を使う遊びもできるようにします。

〈黄・緑グループ〉 見立て遊びが出来るようになってきています。子供たちにとって身近な「誕生会ごっこ」「先生ごっこ」「おでかけごっこ」などを一緒に展開し、繰り返し遊び込んでいきます。役になりきる楽しさなども、伝えていきます。

室内あそび

先月に引き続き、粘土や小麦粉・絵の具に触れていきます。また、机上での遊びの時間も増やしていきます。パズル・シール貼り・指先を使う玩具など、個々の発達に応じたものを提供し、使い方を伝えながら一緒に楽しみたいと思えます。

ピアノやキーボードに合わせて、リズム遊びや楽器遊びの回数も増やしていきます。音に合わせて動く楽しさ、音を鳴らしたり歌ったりする心地よさを伝えていきたいと思えます。

わらべうた

♪げんこつ山のたぬきさん ♪船のせんどうさん ♪ちょっち ちょっち

「げんこつ山のたぬきさん」は、最後にじゃんけんをする遊びです。ご存知の保護者の方も多いと思うので、ぜひご家庭でも一緒に遊んでください。「ちょっち ちょっち」は、腕を回し、肘・頭・お腹など自分の体に触れる遊びです。自分の体の大きさを感じてほしいと思えます。



食育

12月は「白菜」を予定しています。白菜の葉を剥いたりちぎったりする中で、茎と葉の手触りの違いを感じられたらと思います。冬野菜を身近に感じることで、食への意欲にも繋がればと考えています。





2さい
なぎさぐみ

かじはら やまおか ふじむら
梶原・山岡・藤村



11月の振り返り

うた

「やきいもグーチャーパー」(11月の教材曲)

お集まり前に子供たちとたくさん歌っていて、歌い始めると子供たちが集まってくるぐらい大好きな歌です。「グーに勝つのはなにかな?」や「パーに勝つのはなにかな?」などと子供たちに問いかけると「グーに勝つのはパーだよ」と教えてくれます。保育者が「パーを出したお友達の勝ち」というと嬉しそうにガッツポーズをして盛り上がっていました。

食育

～さつまいも～

お調理の先生がボールにたくさんのさつまいもを持って来てくれ、大興奮していた子供たち。さつまいもの皮を集中して剥いており、剥いたさつまいもの皮を嬉しそうに見せてくれました。また、自分たちで剥いたさつまいもをボールに入れて潰し、ラップにくるんでおにぎりのように包んで食べていました。おかわりを自分で作り、たくさん食べていました。

ゲーム遊び

園庭で子供たちと“あぶくたった”のわらべうたをしました。

子供たちが輪を作り中心にいる人が「トントントン」と言うと周りの子供たちが「何の音?」と聞き「お母さんが料理をしている音」と言うと「あーよかった」と答えます。「おばけの音」と言うと輪の中心の人が子供たちを追いかけて遊ぶゲームになっています。「おばけの音」がいつ来るのか子供たちもドキドキしており、「おばけ」と言うだけで「キャー」と言いながら嬉しそうに逃げていました。なかには保育者と一緒におばけをしている子もいて、何度も繰り返し遊びました。始めは保育者が歌っていましたが、途中から子供たちも歌い始め、お部屋にいる時まで口ずさんでいる姿が見られました。

さつまいもスタンプ

赤・青・黄色の3色を使い行ないました。力強く押している子や、スタンプをハケのように使い、色を伸ばしている子など様々な姿がありました。色を混ぜて「緑になったよ」や「オレンジになったね」など保育者と言葉を交わしながら、色あそびを楽しんでいました。





12月の活動内容

うた (今月の教材曲)

「あわてんぼうのサンタクロース」

今月はあわてんぼうのサンタクロースを教材曲として歌います。

1番の歌詞では「いそいでリンリンリン」2番では「あいたたドンドン」と5番までありサンタクロースがやってくる様子やクリスマスの楽しい雰囲気を味わえる歌で、子供たちとサンタの気持ちになって歌ったり、手を叩いたり足を鳴らしてみたりしながら子供たちと楽しんで歌っていこうと思います。

その他、「お正月」「ジングルベル」を歌います。



わらべうた

「なべなべそこぬけ」「おせよおせよ」

食育「ブロッコリー」

12月はブロッコリーの食育をします。

子供たちにブロッコリーの茎から房を取ってもらい、その後は湯がいて食べようと思います。茎と房の違った感触を味わっていきます。



絵本「クリスマスのふしぎなはこ」

男の子がクリスマスの朝、床下で小さな箱を見つけます。開けてみると、そこにはサンタさんが見えたのです。箱の中を見ると、出発準備をするサンタさんの姿が見え、箱の中をのぞく度にサンタさんは森の中を走り、ついに男の子の町にやってきました。クリスマスが待ち遠しくなる絵本です。



はさみ

はさみの1回切りをしたいと思います。

色画用紙をチョキンと切り、はさみの使い方や、はさみで切ることの楽しさについて遊びを通じて実際に経験しながら知っていこうと思います。



リース作り

紙皿の真ん中を開けた物を使ってクリスマスのリースを作りたいと思います。

9月から行なっているのりの活動や、今月から始めるはさみの活動に関連して自分たちで切った画用紙を貼ったり、大きささまざまなシールを貼ったりして作ります。作ったリースは、お部屋に飾るので、是非見て下さい。



11月の振り返り



さわね いすみ のうそう
澤根・和泉・能宗

うた

「やまのおんがくか」（11月の教材曲）
歌に登場する動物と楽器のペープサートで歌詞への興味を広げました。りす・うさぎ・ことり・たぬきのペープサートを出すと、「きゃ〜かわいい」と気に入ってくれました。そして、「（やまのおんがくかの歌詞では）りすさんは何の楽器を奏でているかわかる？」と子供たちに尋ねると、「バイオリン」と教えてくれ、よく学んでいます。ペープサートのりすさんに向かって、「りすさん上手に歌うから見ててね」と伝え、みんなで楽しく、いろいろな楽器の特徴を知りながら歌いました。
♪その他、「おおきなくりのきのしたで」「てをたたきましょう」「どんぐりころころ」を歌いました。

描画「筆あそび」の絵画

新聞紙や段ボールの上に、水だけで描きました。「あれ??」と、なんで絵の具がないのに線が出てくるのだろうと不思議な表情をする子供たち。新聞紙の上で描く筆の滑らかさを感じたり、ダンボールの上に出てくるくっきりとした線に驚いたりしていました。その他、画用紙に絵の具を使い、線あそびをしました。まっすぐな線、グネグネ線、点、まるなど線からいろいろな模様ができる事を楽しみました。

サーキット

ポイントレッスン「鉄棒：つばめ」
腕の力をしっかりと使って、身体を持ち上げられるようになってきています。
「高さのある台からグージャンプ」
勢いがついてきて、リズムよく跳べる子が増えてきました。着地の時に、足に力を入れて立つことができてきました。



クッキング「さつまいもきんちゃく」

「さつまいものおいも」の絵本を読み、お芋に興味を持ってからクッキングをしました。「皮をむきむきしてね」と伝えると、つるつるすべるお芋の皮を真剣な表情で剥いていて、紫の皮から黄色い実がでてきてきたことに驚いていました。すりこぎでお芋をゴリゴリと潰していき、「柔らかいし、良い匂いする」と話してくれました。
作った「さつまいもきんちゃく」はみんなで食べてました。また、余ったきんちゃくはいろいろな先生におすそ分けをし、「美味しかったよ」と感想を貰うと「やった〜!」と達成感を感じていました。

楽器

楽器あそびをしました。最初は、手拍子で一定のリズムに合わせて行ないました。いろいろな歌に合わせて、鈴・タンバリン・カスタネットでリズムを感じながら、楽器あそびを楽しみました。

ゲームあそび

「はんかちおとし」では、誰の後ろにハンカチが落ちるかな、自分にハンカチが落とされるかなとドキドキしながら、鬼がまわってくるのを見ている子供たち。鬼がお友達を一生懸命に追いかけると、周りの子供たちも自然と「がんばれ!がんばれ!」と歓声が沸くほど盛り上がりました。





うた

「サンタはいまごろ」(今月の教材曲)

12月の行事と言えばクリスマスですね。子供たちも馴染みある行事の一つだと感じます。この歌は、サンタさんがクリスマスまでに、何をしているのか分かるストーリー性のある歌になっています。「サンタさんは、どんな人なんだろうね?」「サンタさんはどこに住んでいるのかな?」など、サンタクロースについて興味を持ち、楽しくリズムにのりながら歌いたいと思います。

～その他の曲♪～

「あわてんぼうのサンタクロース」「クリスマスのうたがきこえてくるよ」

「ゆげのあさ」「お正月」を歌います。



クリスマス製作

☆クリスマスツリー

オリジナルのクリスマスツリーを作ります。好きな形の三角を選び、タンポというスポンジのような柔らかい道具で、ポンポンポンと描いていきます。色はクリスマスカラーである赤・緑・白の3色を使います。

はさみで切ったカラフルな画用紙もので貼りつけながら、思い思いに装飾をして、クリスマス気分を味わいます。

☆クリスマスリース

ペーパー芯でクリスマスリースを作ります。ペーパー芯に画用紙をのりで貼りつけて、その上に絵を描いたり画用紙を貼ったりして最後は紐を通し、自分だけのオリジナルリースをつくります。クリスマスを通して、いろいろな製作を楽しみたいと思います。

楽器

先月行なった楽器あそびに引き続き、いろいろな楽器に触れていきます。その中で、自分の好きな楽器や好きな音を感じたいと思います。そして、今月はみんなでリズムを合わせる心地よさや、楽器を使って演奏する楽しさを味わいます。



サーキットポイントレッスン

「鉄棒：つばめ」「その場跳び乗り(3・4段)」

今月から、跳び箱3・4段の高さまでジャンプして飛び乗りを経験したいと思います。これは、跳び箱への第一ステップです。個人差に合わせて、補助していきます。

食育

「クリスマスケーキ」

今月は、クリスマスケーキを作ります。ホットケーキミックスの中に、少しずつ牛乳を入れて、泡立て器でぐるぐる混ぜていきます。サラサラの粉に牛乳を入れて、だんだんとトロトロに変わっていく不思議さを知ります。ふわふわに焼きあがった上に、仕上げに生クリームを乗せて、美味しくてかわいらしいクリスマスケーキをみんなで食べます。





4さい
そらくみ

はしもと ぶんおか
橋本・福岡

11月の振り返り

うた どんぐり家族

はっとの街の中や、散歩に行った公園で、色々な形のどんぐりを見つけることができました。大きいどんぐりはお父さん、背の高いどんぐりはお兄さん、他にもお母さん、お姉さん赤ちゃんのどんぐりを見つけ、まるで家族のようなどんぐりを見ながら歌うことができました。また、手拍子をしたり、動きを考えたりしながら楽しく歌を歌いました。



描画 秋のスタンプ

畑で掘り出した色々な大きさのサツマイモや木の実、落ち葉を使ってスタンプ遊びをしました。赤・青・黄の三原色を使い、思いのままに自由に押す子、形や大きさを意識して押す子、色々な大きさを重ねて押し、花や動物の顔にする子、どんぐりに絵の具を付けて転がし線遊びを楽しむ子、それぞれ自分で選んで考えたりして線遊びを楽しむことができました。

サーキット運動 「跳び箱：縦6段の飛び乗り、横3段飛びこし」

跳び箱の横3段跳び越しはあと一息、6段は手をもう少し奥についたら上手く跳び乗れそうです。鉄棒は前まわりが少し怖いという気持ちの子がいるので、自信を持ってできるように、これからも引き続き挑戦していきます。

散歩 「ゆめ公園」「王子公園」

かもめ組さんと一緒に、ゆめ公園へ歩いていきました。広場で鬼ごっこをしたり、魚の遊具や大きなすべり台で友達と一緒に手を繋いで滑ったりしました。たくさん歩いてお腹もペコペコだったようで、その日の給食はおかわり続出で、お鍋の中はあっという間に空っぽになりました。

動物や自然とのかかわり

園庭には、さくらやかえでの赤く色付いた葉っぱが舞い落ちる毎日です。「これきれい。夕焼けみたい」「こっちは虫が食べて穴開いてる」「みかんみたいな色」など、落ち葉を見つけ、いろいろな表現で教えてくれます。砂で作ったケーキやお料理に紅葉が彩りを加えています。



食育 スイートポテト

みんなが育てて掘り出したお芋を茹でて、指を使って丁寧に皮を剥き、ビニール袋に入れて「おいしくな〜れ」と魔法の言葉を掛けながら滑らかになるまで潰して、バターや砂糖、牛乳を混ぜて作りました。カップに入れて、給食室のオープンで焼いてもらったお芋は、とっても美味しく、みんなペロッと食べていました。苗植え、育っていく様子、そしてお芋掘りと思い入れのあるお芋に関心も高まり、最後は食べてることで、満足感も味わえたと思います。



12月の活動内容



うた

「サンタが町にやってくる」(今月の教材曲)

12月には入ると外もだんだん寒くなり、街中にもクリスマスのきらびやかな装飾がされて心が弾む時期になりました。また、子供たちは大好きなクリスマスやサンタクロースが待ち遠しくて、ウキウキそわそわし出す時期でもあります。そんな子供の様子を歌ったこの歌を、クリスマスが来るのを心待ちにしながら、期待感や楽しい気持ちを感じながら歌います。

他にも「赤鼻のトナカイ」「たのしいね」「お正月」も歌います。

描画・製作

・折り紙「サンタクロース」

「サンタが町にやってくる」から連想して、「サンタはどんなところから来るんだろう?」「サンタはどんなものが好きかな?」「他にどこにプレゼントを渡しに行くんだろう?」などクリスマスについての興味、関心を深めて、折り紙で折ったサンタクロースを画用紙に貼り思い思いにサンタクロースの様子を想像しながらクレパスで描いていきます



クリスマス会

クリスマス会では、そら組はサンタクロースの大切な友達であるトナカイに優しく語り掛ける『赤鼻のトナカイ』を歌います。自分達も、聴いてくれる他のクラスのみんなも一緒に楽しめるように歌いたと思います。

サーキット運動 今月のポイント

「鉄棒：前まわり降り→ぶらさがり→忍者降り」「飛び箱：飛び越し」

楽器あそび

カスタネットやタンブリン、トライアングルといった様々な打楽器の音や使い方などの特徴を知って、リズム遊びをしていきます。また、それぞれの楽器の音が重なり、ひとつの曲をみんなで奏でる楽しさを味わえるようにしたいと思います。

食育

クッキング「お鍋」「冬の葉野菜」

寒い冬に美味しくなる、冬野菜「白菜」「人参」「大根」を具に使いお鍋のクッキングをしたいと思います。グループごとに分かれて、鍋の出し汁を友達と話し合って何にするのかも決めます。

食育は、「冬の葉野菜の仲間」について、調理の先生の話聞いて知識を広げたり興味を深めていきます。



5さい
かもめぐみ

なかに
中谷

11月の振り返り

うた

「もみじ」を歌いました。ちょうど部屋から見えるもみじの葉が綺麗に色づいており、もみじの葉を見ながら歌詞を覚えました。「紅葉」という漢字の一つ一つの意味を伝え、「葉っぱが赤くなるという意味があるんだよ」と話をすると、興味深そうに聞いてくれました。歌詞に出てくる「ヤマモミジ」「マツ」「カエデ」「ツタ」といった木の名前にも着目しました。前奏が始まると、静かな雰囲気になり、綺麗な声で歌い始める子供たち。高いドやしの音もしっかり出せるようになってきました。

描画

秋の自然物と絵の具を使った絵画をしました。集めた葉っぱを匂って「くさい!」「おまんじゅうみたいない匂いする」「この葉っぱ、絵の具つけてもいいん?」などとそれぞれの感想を話してくれました。「自分の感じた“秋”を表現してね」と伝え、木を描いてその横に葉っぱを置いたり、木の実や葉っぱでスタンプをしてみたり、様々な色の葉っぱを描いたり、それぞれの素敵な作品が出来上がっていました。

サーキット運動

鉄棒・・・足がよく上がるようになり、全員足裏を鉄棒にタッチまでできています。
跳び箱・・・だんだん補助なしで跳べる子が増えてきています。

ピアノカ

グループに分かれて「きらきらぼし」を練習しました。子供たち同士で教えあったり、みんなで合わせて吹いてみたりと、お友達と一緒に弾くことで楽しく覚えることができました。「きらきらぼし」以外の曲にも挑戦している姿もみられ、「先生、これできるようになったよ!」と嬉しそうに教えてくれます。

散歩

まずは「園の中で秋探し」をしました。園庭に落ちている葉っぱにも様々な色のものがあることに気づき、夢中で集めていました。「これは夕焼け色の葉っぱ」「この葉っぱ、色んな色が混ざってる!」「虫さんがたくさん食べている葉っぱ」などとたくさんの発見があったようです。後日、アメンボ公園までお散歩に行き、「園の外で秋探し」もしました。行き帰りの道で園にはなかった種類の葉っぱを集めたり、公園では木の実を拾ったり葉っぱを浮かべて船に見立てたりと遊びが広がっていました。

乳児交流

4月からなぎさ組との交流をしています。今月は、お昼の時間に2人ずつなぎさ組のお部屋に行き、一緒に給食を食べました。最後まで食べられるように手伝ってあげたり、食べ終わった子をトントンしてあげたり、なぎさ組の子供たちも「ピカピカして」と甘えている姿があったりと和やかな雰囲気です。食事の時間を過ごしていました。

また、一緒にパンダコアラ公園へお散歩にも行きました。かもめ組が遊んでいる姿を見て、なぎさ組も真似をして一緒に坂からゴロゴロ転がり楽しんでいました。帰りはまだ遊びたいなぎさ組さんの手を引き、時には「危ないよ」と声をかけながらも優しく関わるお兄さん・お姉さんの姿がみられました。

12月の活動内容



うた

「ジングルベル」 ※今月の教材曲

今月は、たくさんあるクリスマスの歌を歌っていきます。「ジングルベル」の歌詞はサンタクロースがやってくる様子や、鈴が鳴り響くクリスマスの情景が描かれていると思います。歌を通してクリスマスへの期待を高めたり、クリスマスの由来やサンタクロースについて学んだり、知識を深めながら歌い込みます。高い音も多く出てくるので、音程にも気をつけながら歌います。

その他「うさぎ野原のクリスマス」「あわてんぼうのサンタクロース」「お正月」を歌います。

クリスマス製作

絵本や歌を通してクリスマスのことをたくさん知り、製作活動にも繋げていきます。まずはグループに分かれてそれぞれのクリスマスツリーを作り、飾りも作ります。クリスマスツリーの飾りにはそれぞれ意味があるので、一つ一つ意味を知りながら飾り付けをしたいと思います。

お話遊び

様々な種類のペープサートを用意し、子供たちに自分でお話作りを楽しんでほしいと思います。また、自分でペープサートを作ることができるようにコーナーも作ります。そして最後には、グループになって自分達の作ったお話をみんなの前で発表する機会を設けます。この活動を通して、演じることやストーリー・台詞を考える楽しさを味わい、発表会にも繋がっていただけると願っています。

楽器遊び

発表会に向けて、楽器遊びをしていきます。全員では打楽器で様々なリズム打ち、少人数では木琴・鉄琴などの楽器を知り、たくさん触れることができるようにします。音楽に合わせてリズムが重なる綺麗さを感じたり、楽器同士の相性を知ったりと一つ一つの楽器に着目しながら合奏を進めていきたいと思っています。

サーキット運動

- ・ポイントレッスン
鉄棒「逆上がり→スイング」
跳び箱「開脚跳び越し：横6段→7段、縦5段」

描画

- ・自分だけの水族館

11月のお弁当当日に水族館におでかけへ行きます。水族館で見た景色を写真に収め、その写真を切り取り、自由にコラージュします。クレパスも使い、自分だけの水族館を作ります。その中に自分のアバター（全身写真）を入れ込み、水族館の中で遊ぶ気分を味わってほしいと思います。



今月の乳児環境

あかの
岡野



《壁面環境》

植物：クリスマスローズ／スイセン／ツバキ

季節の写真：クリスマスツリー／リース／サンタクロース／お正月

《天井環境》

季節の飾り物：木の実を使ったモビール／リース



おひさまぐみ

《ままごとコーナー》

壁面を秋から冬の食材に変えていきます。
冬野菜特集として、ほうれん草・小松菜・白菜
大根・ブロッコリーの写真の掲示をします。
その他にも、おでんやお鍋など冬限定のメニュー
表も作ります。お鍋が題材の絵本も用意し、冬の
食材に興味を持ってもらえるようにしていきます。



《誕生会ごっこ》

子供たちがよく遊んでいる「お誕生会ごっこ」で使うマイクやケーキなども用意し、より一層遊びが広がっていけばと思います。



なぎさぐみ

《ままごとコーナー》

壁面環境として、クリスマスやお正月に関連した料理を掲示していきます。クリスマスケーキやおせち特集としてメニューを作り、お店屋さんごっこが楽しめるようにします。



《サンタクロース/冬》

教材曲として、「あわてんぼうのサンタクロース」を歌うので歌詞の中に出てくるもののイメージが湧くようにイラストにしてわかりやすくします。



今月の幼児環境

やまだ
山田

～黄/赤/茶色/を基調とした色彩

：壁面環境：

植物写真：ポインセチア/ヒイラギ（花の名前/花言葉）

季節の写真：クリスマスに関する内容

仕掛け壁面：“クリスマスって何？”

“サンタさんって誰？”

：天井環境：

暖かい色の綿をモビールにしてぶら下げる

：コーナー環境：

おままごと：料理のレシピ（ケーキ/おせち）

造形：自然物を使ったオーナメント作りが

出来るようにします。



“冬の野菜”



冬に育つ野菜はどれかな？や、お鍋に入っている野菜はどれかな？など、季節ならではの食材に触れることが出来るように、仕掛け壁面を設けます。

“はっとのChristmas”

“好きな形”

造形コーナーにて、秋の自然物を使用したオーナメント作りを行ないます。丸や四角、長方形に切られた段ボールの中から好きな形を選びます。その台に金色や銀色に色付けされたマツボックリや、いろいろな大きさのドングリなど様々な装飾素材を、木工ボンドやグルーガンを使用して接着します。感じたままに、作る人の個性が作品として表現出来るようにします。



ほけんだより

看護師 ならき 榎木

朝夕の冷え込みや気温差が激しく、体調を崩しやすい季節となりました。この時期は、風邪、インフルエンザが流行しやすくなります。外から帰ったらうがい、手洗いを習慣づけ衣類の調整などして風邪を予防しましょう。



インフルエンザかな・・・と思ったら

①子供の状態を見て下のような症状が出たらインフルエンザかもしれません。

咳、鼻汁、38度以上の発熱
頭痛、関節痛、筋肉痛などの全身症状

②勝手に判断するのではなく必ず病院を受診しましょう。インフルエンザかどうかは症状、流行状況、病理検査等で総合的に判断されます。

③インフルエンザと診断されたら発熱した後5日間経過し、かつ解熱した後3日を経過するまで登園を控えてください。

④自宅でゆっくり静養させてください
湿度を高めを保ち、時々部屋の空気を入れ換えましょう。

⑤熱が高いときは、脇の下や、頸動脈、など大きな血管を冷やし、水分は十分にとりましょう。



感染性胃腸炎に注意

食中毒は夏だけではありません。
ノロウイルスによる食中毒は、冬期に多く見られる胃腸炎で、突然顔色が変わり嘔吐が始まるケースが多くみられ吐物や便からの感染力は強く、感染を拡大しないよう早めの確実な処理が大事です。

＜ノロウイルス潜伏期間＞
感染から発症まで 24 時間～48 時間

＜主な症状＞
吐き気、嘔吐、下痢、腹痛、微熱が1～2日続きます
感染しても症状がない場合や軽い風邪のような症状のこともあります。
嘔吐時は吐物による肺炎・誤嚥に注意してください。

＜処理の仕方＞

- 嘔吐物やおむつなどはすみやかに処理しましょう。
- ノロウイルスは乾燥すると空気中に漂い、口に入って感染することがあります。

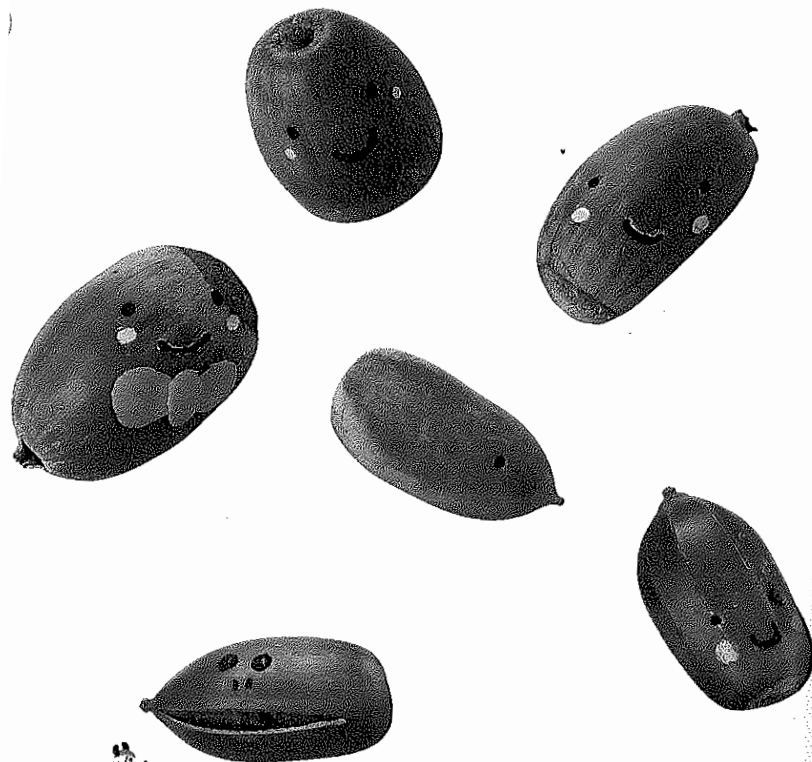
自分自身が感染しない為に

- 使い捨てのマスクやガウン、手袋2枚、シューズカバー（ビニールでも代用可）を着用し、全て使い捨てにする
- ペーパータオル等で静かに拭き取り、塩素消毒後水拭きします。嘔吐物の処理には次亜塩素酸ナトリウム（ハイター）原液6％の場合水（3Lに原液50ml）混ぜ0.1％の消毒液を作ります。拭き取った吐物や手袋などはビニール袋に密閉して廃棄します。
- 終わったら手洗い、うがいをします。

今月の本ときび

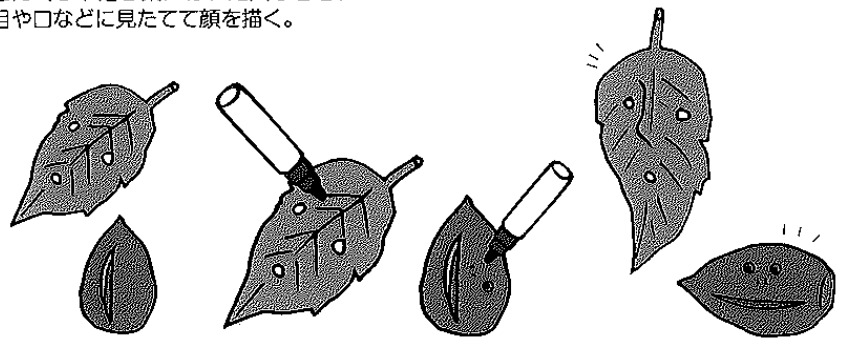
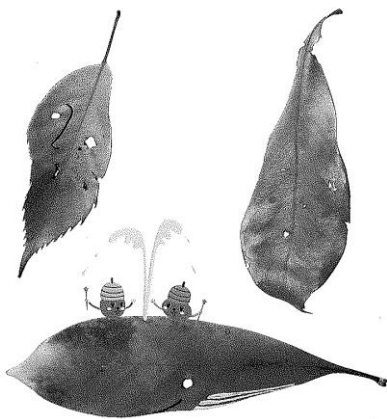
フェイスアート

落ち葉やどんぐりにある虫穴や形のおもしろさを生かして
世界にひとつのおもしろフェイスを作りましょう。



作り方

どんぐりや落ち葉にあいた穴などを、
目や口などに見たてて顔を描く。



虫穴があったり形の変ったどんぐりや落ち葉、修正液、ポスカ
(水性顔料マーカー)、油性フェルトペン



絵：4歳児（グループマーク）

社会福祉法人種のかい

幼保連携型認定こども園 はつとこども園

〒657-0855

神戸市灘区摩耶海岸通2丁目3-14

TEL：078-805-3810

FAX：078-805-3820

携帯：080-3033-1952

Mail：hat@tanenokai.jp

URL：<http://www.tanenokai.ed.jp/>

種のかい 法人本部

Mail：tanenokai@jupiter.ocn.ne.jp